

長野市老連新聞

〔発行〕 長野市老人クラブ連合会
〔事務局〕 〒380-0813
長野市緑町1714-5
長野市ふれあい福祉センター内
☎026-227-3520
〔編集協力〕 (株)博報社 大阪本社
大阪市平野区喜連西4-6-69
☎06-6797-0212



ふれあい便り



平成30年度を迎えて

長野市老人クラブ連合会
会長 近藤 定利

会員の皆さまには長野市老連事業に対して何かとご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。おかげさまで、去る五月二日(水)に開催されました理事会において、退任役員の新補充を行い、平成三十年度も引き続き会長

を務めさせていただくことになりましたが、その重責に心を引き締まる思いです。副会長さん、理事さんのご協力と会員皆さま方のご指導を頂きながら、市老連の会員増強、また会の活性化のため頑張っております。思いと願ってまいりますので今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。人生九十年の時代を迎える中、四人に一人から三人に一人が高齢者という超高齢者社会を迎えようとしております。さまざまな課題を抱える地域社会ですが、一方で社

会の担い手として我々高齢者への期待が高まってきたこと、我々が培ってきた知識と経験を生かし、積極的に社会に参画し、地域支援をすることが大切だと思っております。

本年度も平成二十九年度に実施させていただきました事業をさらに充実させ、会員の皆さま同士の間を深めながら「のびそう！健康寿命。担おう！地域づくりを」の全老連のメインテーマと「健康」「友愛」「奉仕」の老人クラブの三大目標を達成できるように事業を進めてまいります。市老連の活性化を進めるた

に生活していくためには、生活習慣病の発症・重症化予防の徹底も重要な要素です。そのため市では「ながのベジライフ宣言 ハッピーかみんぐ1・2・30」の普及啓発を進めていきます。

めには、単位老人クラブの元気、地区老連の元気がなければなりません。その基となる老人クラブ会員が一向に増えません。「全国一〇〇万人一県下二万人」の会員増強運動も五カ年計画の最終年度を迎えております。市老連としても会員の加入促進を展開し、仲間づくりの推進をさらに進めてまいります。「仲間ができて老人クラブに入ってきた」「老人クラブは楽しい」と言っていただけける老人クラブになるように、また一人でも多くの会員に加入していただくように、共に市老連の活性化のため努力していただくではありませんか。今後とも変わらぬご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



平成30年度 市政運営に向けて

長野市長 加藤 久雄

長野市老人クラブ連合会の皆様におかれましては、日頃より市政に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年度から市では組織を見直し、保健福祉部に「地域包括ケア推進課」を新設するとともに、「高齢者福祉課」を「高齢者活躍支援課」に改称、保健所健康課に「ながのベジライフ推進室」を設置し、予防の取り組みに注力してい

現在の急激な少子・高齢化と人口減少に伴い、医療・介護費の増加とそれを担う人材不足が予想される中、国が構築を進めている地域包括ケアシステムを推進することにも、社会の活力を維持するため、高齢者をはじめ、すべての人が健康を維持し、社会の一員として活躍し続けることが重要だと考えています。生涯現役で生き生きと健康

高齢者支援については、健康長寿社会の実現のため、高齢者生きがいづくり支援事業を行っています。この事業では、市民の皆様一人ひとりが長生きして良かったと実感できる心の通い合う豊かで元気のあるまちをつくるため、各種講座の開催、地域活動や交

流活動の場の提供、老人クラブ補助金の交付等、高齢者の積極的な社会参加を支援しております。こつした中で、社会貢献活動や友愛活動などに積極的に取り組まれ、地域社会の担い手となっておられる老人クラブの皆様には、今後とも一層のご活躍をご期待申し上げますとともに、健康長寿社会の実現に向け、引き続き市政にご協力を賜りますようお願い申し上げます。 結び、長野市老人クラブ連合会のみならずのご発展と、会員の皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。ごあいさついたします。



長野市社会福祉協議会
会長 増山 幸一

新年度を迎えて

「長野市老連新聞」の第十二号発行をお祝い申し上げます。また、日頃は、長野市社会福祉協議会が進めています地域福祉推進のための事業に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

厚生労働省が調査している都道府県別の平均寿命について、昨年十二月に平成二十七年分度の発表がありました。女性は、前回(平成二十二年分)同様全国一位に、男性は、前回から順位を一つ下げて全国二位となっています。ただし、男女共に前回より平均寿命は延びており、長寿の秘訣として、高齢者の高い就業率やボランティア活動・スポーツなど活動的な人が多いことが挙げられています。

今や、人生九十年の時代です。生涯を充実した豊かなものとして過ごすためには、まず健康が第一。その上で、生きがいを持って過ごすことが重要です。

長野市老人クラブ連合会におかれましては、社会貢献活動や友愛活動など地域の仲間と共に健康づくりや生きがいづくりの活動に取り組まれておられます。

このように、老後の生活を豊かなものとし、高齢者福祉、地域福祉の向上を図る老人クラブの役割や意義は、今後ますます重要となってまいります。

本会では、「住民参加・協働による福祉を基盤としたまちづくり」その人らしい生き方や暮らしを尊重した支援の実施」等を事業理念とし、「たれでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指し、事業を推進しております。

今後、皆様方の信頼と期待に応えるべく、地域福祉の推進に努めてまいりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

結びに長野市老人クラブ連合会のみならずのご発展と、会員の皆様のご健康・ご多幸を祈念申し上げ、ごあいさつといたします。



(前列左から) 小林常任理事、山口副会長、宮下副会長、近藤会長、須田副会長、小林副会長、辻常任理事
(後列左から) 武田常任理事、萩原常任理事、荒井常任理事、笠原常任理事、田中常任理事、大草常任理事、山本監事、山崎監事、小出常任理事

役職名	氏名	地区名	役職名	氏名	地区名
理事	宮島 孝夫	第一	常任理事	荒井 静雄	小田切
常任理事	武田 信一	第二	理事	若林 建一	篠ノ井
理事	堀内 昭夫	第三	理事	青木 邦一	松代
理事	丸山 家一	第四	会長	近藤 定利	若穂
副会長	須田 荘一郎	第五	理事	村松 寿男	川中島
理事	太田 照美	芹田	副会長	小林 驍	更北
理事	増尾 敬次	古牧	理事	早川 幸	七二会
理事	笠原 啓良	三輪	常任理事	萩原 虎雄	豊野
理事	中川 憲児	吉田	副会長	宮下 慎平	戸隠
常任理事	大草 作治	古里	理事	保科 孝紀	鬼無里
理事	玉木 秀明	柳原	理事	吉田 正	信州新町
理事	斉藤 義信	浅川	常任理事	小出 五郎	直轄
理事	田中 敏郎	大豆島	常任理事	辻 信子	第三
常任理事	笠原 美敬	朝陽	常任理事・女性部副部長	田中 純子	大豆島
理事	藤澤 純雄	若槻	副会長・女性部長	山口 久子	若槻
理事	井上 慎一郎	長沼	常任理事・女性部副部長	小林 靖子	安茂里
理事	浅岡 俊安	安茂里	監事	山崎 藤雄	川中島
理事	傳田 昭尾	芋井	監事	山本 克昭	七二会

(地区老連順)



平成30年度 長野市老人クラブ連合会理事会

五月二日、長野市ふれあい福祉センター五階ホールにおいて、平成三十年度長

野市老人クラブ連合会理事會が開催されました。はじめに近藤会長からあいさつがあり、まず昨年の十月に馬場修司顧問が逝去されたことを報告。ご冥福をお祈りした後、「平成二十九年より部門制を導入して理事の方には必ず何がしかの部門で舵取りの役目を担当していただき、この一年の事業を滞りなく遂行することができました」と感謝の言葉がありました。そのうえで、「少子高齢社会となった現在、われわれ高

齢者に対する世間の期待は高まっています。老人クラブの運営が難しい時代に入っているものの、一致団結して地域の見本となるような活動を示して活性化を図っていきましょう」と呼びかけました。

この後、会則に基づいて近藤会長を議長に、議事へと移りました。

◆平成二十九年長野市老連事業について

①事業報告
②決算報告
③健康づくりフェスティバル

この後は会場を移し、和やかに懇親会が開かれました。

野市老人クラブ連合会理事會

④健康づくりフェスティバル事業会計決算報告

これらについて審議が行われ、賛成多数の拍手をもって承認されました。

この後、退任する役員への補充があり、今年度の役員からそれぞれ自己紹介と抱負が述べられました。また、前年度限りで退任される役員からあいさつがあり、ねぎらいの拍手が送られました。最後に事務局から諸連絡があり、全議事が終了し、理事會は閉幕しました。

ル事業報告

平成30年度 長野市老人クラブ連合会 事業計画

長野市老人クラブ連合会は、健康・友愛・奉仕の全国三大運動の原点に立ち、生きがいと地域を豊かにする活動、健康づくり、交通事故・犯罪防止活動など多彩な活動を進めるとともに、全国一〇〇万人会員増強運動の最終年度に併せ、会員の増強、高齢者の仲間づくりを進めます。

◆30年度の柱

- 1 生きがい・健康づくりの推進
2 仲間づくりの推進
3 地域づくりの推進
4 友愛・災害・奉仕活動の推進
5 交通事故・犯罪被害防止活動の推進

- 3 地域づくりの推進
(1)子ども見守り活動の推進
(2)自治会、子供会等地域の団体との連携
(3)地域文化の保存、継承活動への参加
4 友愛・災害・奉仕活動の推進
(1)在宅高齢者やその家族を支援する友愛活動
(2)一人暮らしや高齢者世帯等への情報提供
(3)安全、安心の住みよい街づくりを目指すボランティア活動
(4)災害時共助活動、隣人・地区との連携活動の推進
(5)老人の日・老人週間活動(九月十五日～九月二十一日)〔全国一斉社会奉仕の日(九月二十日)の推進
(6)友愛活動研修会の開催
(7)災害時高齢者共助活動研修会の開催
5 交通事故・犯罪被害防止活動の推進
(1)シニアセーフティクラブ活動
(2)高齢者交通安全出前教室の推進
(3)特殊詐欺被害防止活動
(4)シニアセーフティ研修会の開催
6 女性部活動
(1)女性リーダー研修会の開催
(2)実技研修会の開催
(3)交流研修会の開催
7 表彰・慶賀
(1)表彰：会長永年在任者、優良老人クラブ、功労者
(2)慶賀：祝状、祝品の贈呈
金婚祝(五十年)、ダイヤモンド婚祝(六十年)、米寿祝(八十八歳)、白寿祝(九十九歳)
(3)表彰審査委員会の開催
8 啓発宣伝
(1)情報紙「いずみ」発行(年六回 おおむね奇数月)
(2)「長野市老連新聞 ふれあい便り」発行(八月)

平成30年度 長野市老人クラブ連合会 主な事業実施内容 (平成30年6月20日現在)

Table with 2 columns: 月 (Month) and 事業内容 (Business Content). Lists activities from June to March.

※会場等の都合により変更する場合があります。
※行事開催日の決定している日については、地区老・単老での行事と重ならないようご配慮をお願いします。
※会場記載ないもの:長野市ふれあい福祉センター

男女別・年齢別会員数の内訳 (平成30年4月1日現在)

Summary table for total membership: 合計 7,169 (Men), 6,957 (Women), 14,126 (Total).

Table showing membership counts by age group (60-90+) and gender (Men/Women).

平成30年度 地区別クラブ数、会員数の分布 および会員増強目標 (平成30年4月1日現在)

Table showing distribution of clubs and members by district, and H30 targets for membership enhancement.



進化が求められる老人クラブ 戸隠地区 宮下 慎平

豊かな知識と経験を生かし地域社会における諸活動に参加することにより、老後の生活を健全で豊かなものとし、生きがい高めようという目的で結成された高齢者を会員とする自主的組織も半世紀、原則として60歳以上の高齢者が自主的に参加運営を行う活動組織で、一定の条件を満たされれば生きがい対策の一環として老人クラブ助成事業として補助金が支給される組織である。

ある調査機関によると、高齢化社会が進む中、高齢者が増えている今日、会員数がどんどん減少するのはやはり老人クラブは単なる魅力低下なのか？他にも原因はないかと、全老連が平成26年度～30年度までの5カ年計画で会員100万人増強運動を実施。都道府県ごとに数値目標を割り振り、本年度が最終年度になる。

やはりクラブ活動自体の魅力を高めないと目標達成は容易ではないか。社会環境の変化とともに、老人クラブにも進化が求められていると思う。



副会長に選任されて 第五地区 須田 荘一郎

今年度も引き続き副会長を務めます第五地区老連の須田でございます。微力ながら近藤会長の指示のもと、任務遂行に努力する所存です。

平和の続いた「平成」の世も、今年度で終わりますが、来年度からは、新しい「世」となり、希望が持たれます。この新しい年度に、われわれも参画して「老人力」を発揮し、高齢者が活躍できる社会に世の中を動かしませんか。大きな夢です。

「老人力(ロウジンパワー)」は、馬鹿にできません。現在の日本の3人に1人が高齢者です。この結集力は非常に強力なはずで、1人では弱くても、集まれば強くなる。つまり、老連の会員を増やして元気な、そして強固な力にできれば、社会を動かすことも可能かもしれません。

今年も元気で明るく、皆さまのご協力を頂いて、長野市老連の発展に努力いたします。

平成30年度 長野市老人クラブ連合会 副会長ごあいさつ



いつまでも健康で 更北地区 小林 驥

前副会長が任期途中で退任したため、残り1年目から務めました。今年度は3年目になります。

1年目は何とか事務局の指示で務め、2年目は1年目のスケジュールがわかり、自分なりに無事務めたと自負しています。それも健康な身体に恵まれたからこそで、足腰が何となく脳が少しいかれてきたまでです。

健康を維持するために、毎週水曜日の午前10時から11時30分まで、地元の綱島公民館で“綱島はつらつクラブ”を昨年5月に立ち上げて、仲間と楽しく心と身体を動かして、いつまでも元気をモットーに足腰を強くする「筋トレ」、痛みや疲れを取る「ストレッチ」、また脳を活性化する「レクリエーション・ゲーム」などを行っています。私は初めから参加しているので、体調万全、頭の痛いのは会員減です。なかなか良い知恵がありません。地区の人とできるだけ接点を持って話をすることかしら？



副会長をお受けして 若槻地区 山口 久子

今年度、倉島前副会長が単位クラブの会長になられたので任期1年を残して退任されました。女性部長は副会長を兼ねるとのことので、思いがけず重責を担う一人となりました。

近藤会長の筆頭に3名の副会長もベテランで市老連の土台をしっかり支え、実践の先頭を本戸事務局長が頑張っています。さらに事務局には小出氏による行政出身のキャリアを生かした適切なアプローチがあって市老連が成り立っていると思っております。その中に私のようなちっぽけな副会長では手も足も出ないと思います。大きな抱負はありませんが、単位クラブや地域のクラブの中で感じてきたこと、仲間の想いを市老連の中でちょっとだけでも発言でき、双方の意思疎通がスムーズになれたらと思っています。

ともかく1年間だけ、後期高齢者の身体にむち打って務めさせていただきますので、会員の皆さま、お力とお知恵を貸していただけますよう、よろしく願いいたします。

退任副会長ごあいさつ



任期1年を残して 古牧地区 倉島 財子

副会長・女性部長を退任することになりました。4年前に常任理事に指名され、その後3年間、皆さまのご指導のもと務めてまいりました。

全国でも珍しい健康づくりフェスティバル、女性部リーダー研修会、実技研修会など、貴重な体験をしました。一昨年、静岡市での全国老人クラブ大会に参加しましたが、「健康長寿日本一の県」と自信を持ち、皆さんの明るく元気に活動している姿に拍手を送るとともに老人クラブの目標の健康・友愛の姿を学習したように思いました。

少子高齢社会の現在、問題は山積しており、高齢者が増加しているにもかかわらず、老人クラブ会員の減少に歯止めがかりません。今後私は単老の活性化に努力していきたいと思います。この4年間、大勢の人との素晴らしい出会いが、かけがいのない宝物となりました。最後に長野市老連の発展と皆さまのご健康・ご多幸を祈念いたします。ありがとうございました。

平成30年度 長野市老人クラブ連合会 常任理事ごあいさつ

今年度、9名が常任理事に就任しました。先輩方の後を引き継ぎ、長野市老人クラブ連合会のさらなる発展に尽力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

◆直轄地区 小出 五郎

老人クラブが進めている会員増強運動も、最終の5年目を迎えました。成果は上がっていません。市老連でも同様に会員の加入促進は進んでいません。

“健康”“友愛”“奉仕”の原点に戻って、各単老役員が老人クラブの活動をしっかりとPRすること、そして「仲間ができてよかった」「老人クラブは楽しい」と言ってもらえるように、一人でも多くの会員に加入していただけるように、皆で頑張りましょう。

◆第二地区 武田 信一

昨年、予想もしなかった常任理事になり戸惑いながらの1年間でありました。地区の会長、常任理事とも初めてのことであり、皆さまの指導をいただきながらこの1年間何とかやってきたと思っています。

ところで第二地区ですが、昨年同様に会員の減少に歯止めがかからず、目下のところ最大の悩みです。会員増も含め何とか魅力ある老人クラブづくりを目指してまいります。この1年もよろしく願います。

◆小田切地区 荒井 静雄

地区会長職と市老連では常任理事を仰せつかって2年目になりますが、分からないことばかりです。皆さまにご指導を賜りながら、誠心誠意任期を頑張りたいと思っています。どうかよろしく願います。

◆古里地区 大草 作治

新年度を迎え、理事会において常任理事に任命された古里地区老連の大草です。このたびは大役を仰せつかり任務の重さを感じています。近年高齢者の増加にもかかわらず毎年クラブ会員の減少している現在、いかにして会員増加に転じるかが課題です。誰もが第一線を退き、人生最後の仲間づくりと活動の場は老人クラブだと思います。

まずは地元の単位クラブの充実を図り、安定した組織づくりが大事なことと思います。今後ともよろしく願います。

◆朝陽地区 笠原 美敬

朝陽地区長寿会長として5月2日の理事会に出席し、いきなり常任理事の大役を仰せつかり、困惑と責任を感じております。

諸先輩方のご指導とご鞭撻を賜り、与えられた仕事を全うする所存ですので、よろしくお願い致します。

なお、単位クラブの会長も兼任致しておりますので、連合会に迷惑をおかけしないよう心掛けてまいりますので、併せてよろしくお願い致します。



(前列左から)荒井常任理事、小林常任理事、田中常任理事、辻常任理事、小出常任理事

(後列左から)武田常任理事、萩原常任理事、笠原常任理事、大草常任理事

◆豊野地区 萩原 虎雄

今年地区老連の会長として5月2日の市老連理事会に初めて参加しました。役員選出のところで市老連の近藤会長より常任理事を仰せつかり、びっくりするとともに不安でした。

豊野地区老連の皆さまと市老連の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

◆第三地区 辻 信子

昨年、突然に常任理事・女性部副部長を受けてから早くも1年がたちました。市老連の格調高い活動を見事にこなす先輩諸氏にならった、忙しく日々が過ぎました。

今年は悠遊会の折り紙の会にも参加させていただくことになり、大勢の仲間と楽しい会に参加することができ、感謝しております。会員の皆さま、市老連の活性化のために手芸・折り紙・踊りの会・囲碁・マレットの会等で活動している有志の会および市老連の行事に参加しましょう。お待ちしております。

◆安茂里地区 小林 靖子

天候不順な今年の春も、桜は早々に咲き終わり、花々は次々と咲き、鳥のさえずりも聞かれ、いつもの春が過ぎ去ってゆきます。新しく会長になられた方、引き続き役員を受けてくださった方と、そろって新しい年度を迎えました。私も引き続き女性部副部長を務めさせていただくことになりました。本年も与えられた役割を果たすべく、近藤会長をはじめ役員の皆さまと協力し、市老連の発展に努めたいと思います。

◆大島地区 田中 純子

今まで単位老人クラブの会員でしたが、このたび地区女性部の代表として市老連女性部会に出席しました。突然常任理事・女性部副部長に指名されたときは、驚きと戸惑いで即断りしたましたが、お引き受けすることにしました。老連の活動や女性部の活動を全く理解しておりませんので、先輩の皆さまのご指導と地区の皆さまのご協力のもと、高齢者が心身共に健康で楽しく仲間づくりができるよう尽力したいと思います。



若槻地区/若槻音頭・新町甚句保存会



若槻地区/三登山太鼓



芹田地区/芹田木遣り会

長野市老連 芸能発表会



二月十六日、東部文化ホールにおいて、長野市老連芸能発表会が開催されました。

荒井教養部副部長の開会のことばで始まり、会場の参加者全員で元氣よく「老人クラブの歌」を斉唱。続いて近藤市老連会長からあいさつがありました。

「芸能発表会は、趣味を通して健康になげましょう」という趣旨で平成二十四年度から始まり、今回で六回目になります」と紹介した上で、「近年、趣味を通じた活動が認知症予防になるという学説も出ているのですが、出演する皆さんは精一杯発表に集中していただき、客席の皆さんは精一杯声援を送っていただき、今日一日有意義に過ごして健康と仲間づくりを深めてまいりましょう」と呼びかけました。

トップを飾るのは、昨年に引き続き芹田地区芹田木遣り会の皆さんによる木遣りパフォーマンス。今年は今十八組が出演、木遣り唄・和太鼓・踊り・寸劇・舞踊・カラオケ・混声合唱・太極柔力球・オカ

リナ演奏・銭太鼓・甚句・ハンドベル・ハーモニカ独奏・コーラス・民舞踊・などバラエティーに富んだ演目で会場を沸かせました。市老連男性役員による寸劇「白浪五人男」では、それぞれの役員が歌舞伎役者になり切ってオリジナルの見得を切り、爆笑と温かい声援を誘う場面も。自由参加の「歌・踊り」では、会場前方のスペースいっぱいには輪を広げ宮下副会長の「北国の春」の歌に乗せて飛び入りの大勢の皆さんの参加をいただき、「炭坑節」を踊りました。

最後に参加者全員で「信濃の国」を斉唱、演目がひと通り終了したところでお楽しみ抽選会が開かれました。当選番号が発せられる度に会場にどよめきが起こり、最後の景品が当選者の手に渡ると、近藤市老連会長による閉会のことばで盛会裏に幕を閉じました。

会場入り口付近では、今回も一期一会悠遊会の皆さんによる手芸作品の展示・販売があり、来場者は興味深く覗き込んで、お気に入りの一品を買い求めていました。



近藤市老連会長による閉会のことばで盛会裏に幕を閉じました。



若穂地区/星澤 禮子



第二地区/檜山なみ江



長野市老連役員/白浪衆



舞踊

更北地区/下水鮑すみれ会・太陽会



混声合唱

川中島地区/カラオケ愛好クラブ



カラオケ

古牧地区/小林 建三



オカリナ演奏

古里地区/ニワカース



舞踊打楽

長沼地区/長沼道秀会



太極柔力球

長沼地区/長沼太極柔力球愛好会



ハンドベル

長野市老連/新旧役員徒然会+



三輪甚句

三輪地区/三輪甚句保存会



銭太鼓

信州新町地区/宮坂流津山銭太鼓長野連合



民舞踊

長野市老連/安来節の会



コーラス

長野市老連/コーラル歌音



ハーモニカ演奏

松代地区/山岸 實

新たな顔ぶれで新年度をスタート!



それぞれの地区会長から意気込みや目標をお聞きしました



◆第一地区 宮島 孝夫

月に一回、第一日曜日に神社境内の清掃や公民館の花壇整備を実施し、地域の美化に努めています。また、育成会や保育園など他団体との交流事業も年に十回ほど行い、ふれあいのひとときを過ごしています。会員の平均年齢が八十三歳と高齢化が進んでいるため、行事への参加者が年々減少しているのが課題です。今後は六十代・七十代前半の若手会員の加入に力を入れ、これらの行事をさらに活発化させたいです。

◆第二地区 武田 信一

現在二〇〇名ほどが在籍し、その半数以上が八十歳以上で占められています。男女の比率はほぼ半々で、ペタンクやスマイルボウリング、健康体操などで汗を流し、日々健康づくりに努めています。この数年、加入促進に尽力しています。が、会員の高齢化とともに会員数減少に歯止めがかからず、新たな策を模索しているところです。

◆第三地区 堀内 昭夫

市街地で高層マンションには子供が多く、割合にぎやかな地区です。神社や公園などの清掃活動を定期的に実施しており、地域のラジオ体操や祭りなどにも積極的に参加しています。昨

年四月に東鶴賀町が加わったので、今年度も積極的に加入に向けてお声掛けしていきたいと思ひます。私自身、人と人とのふれあいが最も大切だと考えています。仲間を一人でも多く増やし、活動を通じて交流を深めていきたいです。

◆第四地区 丸山 家一

中心市街地の北に位置する当地区は三つの単位クラブで活動しています。各単位クラブは毎月一回定例会を開催し、公共施設などを清掃したり、自治会行事に参加したりして地域住民との親睦を図っています。会員の高齢化が進む一方、新規加入が進まないため会員数は減少傾向にあります。が、なるべく地域の行事に参加し、親睦を深めることで老人クラブの存在をアピールしていきたいと思ひます。

◆第五地区 須田壮一郎

いわゆる「老人会青年部」に属する会員が少なくないが、会員の平均年齢が徐々に上がってきています。そのため、今年になり一単老が解散、もともと地区に五つあった単老が二単老になりました。いかに会員を増やすかに苦労しています。が、今後は各単老でおのの事情に合わせ、「ロコモ」の「人のつながり」で丁寧

に動誘していく一方で、町内会などの会議や行事でPRや協力依頼を図っていききたいと思ひます。

◆芹田地区 太田 照美

地区会長に就任したばかりで不慣れですが、会員皆さんの協力をいただき、頑張っていきたいと思ひます。まずは外へ出る機会を増やし、健康づくりや地域でのつながりを深める活動を企画・実施していこうと考えています。「新規加入者が少ない」「役員のみ手がない」など課題点もありますが、各クラブでそれぞれ知恵を出し合い、会員皆さんが楽しめるクラブづくりに尽力してまいります。

◆古牧地区 増尾 敬次

今回初めて地区会長になりましたが、これまでの地区行事(地区内の小学六年生を対象にしたグラウンドゴルフ交流会・ニラせんべい作り・金婚・米寿・白寿の方を対象にした祝賀会)をしっかりと開催していきたいと思ひます。分からないことだらけですが、皆さんの力を借りながら着実に進めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

◆三輪地区 笠原 啓良

県立大学をはじめ、短大

や高校・中学・小学校を多く擁する文教地区ならではの特性を生かし、県立大生との交流会を通じ、若者の発想や経験から得ることも多い。また、大学の出席講座を活用して研修会を実施し、視野拡大を図っていき

◆吉田地区 中川 憲児

当地区は山や野原に囲まれ、自然環境に恵まれた地域です。近年はマンションが多く建設されており、昔から住む住民との関係構築が難しいのが現状です。また、最近では個人情報保護の観点から名簿などが少なく、加入のお誘いにも苦勞が生じます。課題は数多くありますが、老人クラブ活動にとって大切な「奉仕」活動に力を入れ、仲間づくりにつなげたいと考えています。

◆柳原地区 玉木 秀明

毎月十日と二十五日に公民館を利用して活動を行っています。が、会員の平均年齢が八十歳を超え、年々参加者が減少しています。高齢のため、新規加入に向けての勧誘が進まないのが現状ですが、麻雀など新しい事業も実施しています。各クラブで魅力的な活動を増やして、加入促進につなげたいと思ひます。

◆浅川地区 斉藤 義信

今年度初めて地区会長を務めますが、当地区は中山間地が大半を占め、住民の高齢化が著しいのが特徴です。そのため各単位クラブでは活動しているものの、地区としての活動や市老連活動への参加はほとんどしていないのが現状です。まずは他地区の活動状況を参

考にして地区の活動を活発化できればと思ひます。

◆大豆島地区 田中 敏郎

私自身「老人クラブ」という呼称に抵抗があり、県の老人大学が「シニア大学」と改称したように私が所属しているクラブも今年度より「大豆島東シニアクラブ宝寿会」と改称しました。旧態依然とした体質を変え、新しい時代に即した対応を考えています。平成年号最後の役員として、新しい時代への大きな橋渡しとなる活動を自指します。

◆朝陽地区 笠原 美敬

初めて地区会長を務めるにあたり、年十回の理事会で地区の理事の方々と市老連の橋渡しをしっかりとる一方で、地区内の意思疎通を図って円滑に事業を進めていきたいと思ひます。今少し困っているのは、(運営のための)資料作成や資料の保管場所です。

◆若槻地区 藤澤 純雄

長野市の北方向にあり、近年は企業や住宅などの建設により発展を遂げています。健康づくりのためにマレットゴルフやグラウンドゴルフを、また奉仕活動としては地域の清掃を実施。少子高齢化の今だからこそ、高齢者パワーを発揮し

たさまざまな活動を展開していきたいです。これらの活動を地域にアピールし、会員の増加を図りたいと考えています。

◆長沼地区 井上横一郎

地域内の高齢者の割合が四十二%を超え、当クラブの会員も皆七十五歳以上と高齢化が進んでいます。また、会員全員が県の特産であるリンゴ生産者のため、作業が忙しく活動に参加する人員の調整に苦労しています。そんな中、公園の清掃や草刈り、植木の手入れ、児童館の子供たちの交流会など、多彩な活動を実施しています。引き続き若い世代の加入に力を入れ、活動を継続していきたいです。

◆安茂里地区 浅岡 俊安

古くからの歴史と伝統を有する地域と、宅地開発により新設された団地が混在していますが、住民は調和と協調を図って生活を営んでいます。会員の多くが自治会やPTA、福祉関係団体などの経験者で、長年地域に貢献されてきました。その後も継続して地域のために「できる人」ができることを一をモットーに公園整備や資源回収、世代間交流活動などに参加しています。互助体制を整え、自治会や行政との連携を模索しているところです。

◆芋井地区 傳田 昭尾

昨年に引き続き、地区会長を任せられることになりました。既に地区内の四単位のクラブのうち、一クラブが脱会、もう一クラブが休会で二単位クラブになりましたが、一番の要因は六十代〜七十代の入会がなく、会員全体が高齢化する一方で後継者がいっごうに育たないことにあります。そのため、現在の役員が引き続き就職に就かざるをえない状況です。新規入会を促す妙案がないか地区内で検討中で、何とか私の任期中に答えを出したいところです。

◆小田切地区 荒井 静雄

地区会長になりました二年目に入りました。市老連で会員数が最も少ない地区ですので、地区の幹事さまには、まだ入会していない方々に入会をお願いをして回っていただきました。この紙面をお借りしまして、大勢の入会をお願いいたします。

◆松代地区 青木 邦一

大きな行事としましては、受彰者を祝う春季大会、秋の芸能大会、研修旅行、マレットゴルフ大会など、多くの会員の皆さんが参加できる事業を中心に活動しています。このことにより会員同士の結束が強まり、新たな活動の展開につながっています。役員の手が足りない、会員の自然減といった課題については、任期や役割分担を見直し、負担の軽減を図るとともに、組織を挙げて加入促進への取り組みを進めていきたいと考えています。

◆若穂地区 近藤 定利

サロヤスポーツ大会(マレットゴルフ・スマイルボウリング)、健康フェスティバルに参加など、さまざまな行事に取り組んでいます。山間部にあたる当地区は、農業に従事している会員も多く、「一生現役」のため、行事への参加率が低いのが悩みの種です。平成五年から会員数が減少し続けており、今後ともこれまで同様、行政へ積極的に働きかけ、休会クラブの復活や新クラブの立ち上げに尽力していきます。

◆七二会 早川 幸

四単位クラブで構成する七二会では、地区内の小中学校や保育園の行事に参加して交流を図っています。会員減少に歯止めがかからず、方策に苦慮していますが、解決の糸口が見えてこないのが現状です。

◆鬼無里地区 保科 孝紀

当地区では「今後のあり方検討会議」を昨年度設置しました。その会では、支所長や自治会長など他団体の長にも参加いただき、老人クラブの加入についてや、会のあり方・事業などについて意見を交わしています。五回の会議をもつて、今後の方向性を今年の九月に出せればと考えています。魅力あるクラブづくりに向けて課題は山積していますが、公民館や社協などとの連携を図りつつ、会員が気軽に活動に参加できるよう努めていきたいと思っています。

◆川中島地区 村松 寿男

地区全体では、グラウンドゴルフ大会や独居老人の訪問、また川中島フエスティバル21の福祉バザーなどに取り組んでいます。七十歳以下の会員が少ないため、もっと若手の方に入会してもらおうと新たな行事を考えていますが、そうすると役員の仕事量が増えてしまい、なり手がなくなるといふジレンマに悩んでいます。とはいえ、今後は子供や孫の世代に向けたスポーツ・文化継承の行事を行い、そこに来る親や祖母世代に老人クラブの存在感をアピールしていければと考えています。

◆戸隠地区 宮下 慎平

私が所属する綱島太陽会の会員数は四月一日時点で二十五名でしたが、四月中旬から毎週健康体操を始めるところ、地域に住む非会員の方が二十五名参加し、そのうち女性六名の方が入会してくださいました。このこともあって、改めて「声掛け」の重要性を感じているところです。私自身、健康なのは老人クラブの活動があるからだ実感しています。現在男性会員が少なく、男性の方にも入会していただけるよう引き続き活動を実施していきます。

◆信州新町地区 吉田 正

昨年度は九つの単位クラブでそれぞれ活動していましたが、今年度は三クラブ減の六単位クラブでのスタートとなりました。どのクラブにおかれても多少の問題はあると思います。「人生一〇〇年時代」といわれる今日、地域に合った無理のない、楽しいクラブ活動を目指したいと思っています。

◆直轄地区 小出 五郎

地元単位老人クラブがないため、市老連の事業に参加できない人たちの受け皿として直轄クラブを運営しています。人数は少ないですが、市老連行事や有志の会には積極的に参加をしています。単位クラブの休止・廃止による会員減少をなんとか食い止めるため加入促進の一助になるように活動しています。

◆豊野地区 萩原 虎雄

年に二〜三回研修旅行で近くの温泉に出かけたり、育成会との交流ではニジマスつかみを行ったりと活発な行事を企画・遂行しています。農業を中心とした高齢者が多い地域ですが、会員皆が「老人クラブに入っ

◆鬼無里地区 保科 孝紀

てよかった」と思えるような事業をこれからもたくさん考えていきます。これらの活動を通じて、楽しく仲間づくりの輪を広げていけたらと願っています。

有志の会 紹介

市老連では会員相互の交流と親睦を深めるため、有志の会の活動を行っています。その一環をご紹介します。

◆一期一会 悠遊会 会長 窪田千代子

有志の会の中では最初に発足し、今年で7年になります。手芸・料理教室等、月に数回開催しており、また地区社協等の関係福祉団体への出張講座も行っております。

作品は、指導者研修会や友愛活動研修会、芸能発表会、EMウェブでの健康づくりフェスティバル等で展示販売しております。また、毎年12月にはクリスマス会を開催し、プレゼント交換で楽しんでおります。今後の計画としては一泊の旅行を予定しております。とても和やかに楽しい会です。

◆折り紙の会 会長 石坂 薫

講師は若穂地区の星沢久美子先生です。活動は月一回、参加費(材料・講師料)は500円です。時間は午前10時から1時間30分で、時間内で完成する比較的やさしい作品を作成しています。時には老人ホームや小学校などにお願ひされて出前講座に行ったり、市老連の指導者研修会、女性リーダー研修会などでは講師として参加。作品を展示し、販売もします。

現在会員数は13名です。興味のある方は男女問わず直接会場に来ていただき、ぜひ一度ご覧いただきたいと思ひます。

◆碁楽会 会長 島田 庸夫

発足して6年目になります。会員は現在35名。年会費は1000円で、年2回の大会(1月・8月)と3回の交流会(3月・6月・10月)を実施。交流会では藤縄副会長の解説、指導による詰碁の解説と自由対局。大会は上級(3段以上)と中・初級(2段以下)の二つのランクで対局。1位から3位を表彰、参加者には参加賞が贈られます。

「みんな仲間だ 輪をつくろう」を合言葉に発足した趣味の会です。どうか気軽に参加いただき、交流を深め、心身の健康づくりの一助にしていだければと思ひます。

◆安来節の会 会長 赤芝 道子

「安来節の会」では、女性会員のほか男性会員も4名加わり和やかな雰囲気の中で楽しく練習をしております。主に安来節が中心で、中腰の姿勢で滑稽に踊ります。各々個性が出てきて多勢で部屋いっぱいになって踊っている姿には笑ってしまいます。今練習している「おてもやん」は男性も着物を着て愛嬌のある女性を演じます。練習の成果は市老連研修会・大会・芸能発表会で披露して皆さんにご覧いただき楽しんでもらっています。踊りのほかに食事会等もして交流を深めております。

会員数も少しずつ増えてきており、仲間づくり・健康づくりを目標に活動していきたいと思ひます。興味のある方は直接会場に来て見学していただきお仲間になっていただけたらありがたいです。とにかくお仲間が良く楽しい会ですので皆さんのご入会をお待ちしております。

◆コーラル歌音 会長 倉島 財子

“元気で長生きを”の願ひから昨年10月に発足しました。軽い体操をし、大きな声を出し、口を動かしてリズムを刻むことが脳の活性につながり、認知症予防になればと懐かしい童謡、唱歌を中心に楽しく合唱しております。

また、ジャンルにかかわらずカラオケでご自慢の歌を披露するステージも7月に計画しました。長野市老連のイベントには参加してまいります。混声合唱ができたら素晴らしいと思ひます。楽しい仲間への加入をお待ちしております。

◆MG健球会 会長 玉井 洋光

人生の生きがい、それはマレットゴルフです。人は誰もが健康で長生きして良かった。そんな人生を望んでいると思ひます。幸い長野市老連の関係役員の方々のお力でMG健球会が平成29年度に誕生しました。お互いの信頼と親睦を深め合う文字通り最高で最適なスポーツとして何よりも強く求められています。

MG健球会が更なる前進に向かっていくため、地区・単位クラブの皆さま方のご支援とご協力を頂きたいと思ひます。

MG健球会に入会して良かったと喜んでいただけるよう努力してまいります。大勢の会員の皆さまの入会をお待ちしております。

有志の会 ご案内(平成30年度7月～ 日程一覧)

	月	日(曜日)	開始時間	内容 / 場所	持ち物	
一期一会 悠遊会 年会費1,000円 参加費無料 材料費・講師料 別途	7	17(火)	10:00	手芸 / 長野市ふれあい福祉センター	裁縫道具	
		30(月)	13:00			
	8	8(水)	10:00	「健康づくりフェスティバル」作品展示販売会 / EMウェブ		
		27(月)	13:00			
	9	3(月)	10:00	手芸 / 長野市ふれあい福祉センター		
		5(水)	10:00			
		20(月)		「友愛活動研修会」作品展示販売会 / 東部文化ホール		
		1(月)	13:00			
		22(月)	10:00	手芸 / 長野市ふれあい福祉センター		
		23(火)	PM			
		29(月)	13:00	クリスマス会 / 長野市ふれあい福祉センター		
		14(火)	10:00			
	26(月)	13:00	手芸 / 長野市ふれあい福祉センター			
	12	17(月)		12:00		
折り紙の会 年会費1,000円 参加費500円 (材料・講師料)	1	7(日)	10:00	手芸 / 長野市ふれあい福祉センター	はさみ	
		28(月)	13:00			
	2	13(水)	10:00	「芸能発表会」作品展示販売会 / 東部文化ホール		
		14(木)	PM			
		25(月)	13:00	手芸 / 長野市ふれあい福祉センター		
		11(日)	10:00			
		25(月)	13:00	折り紙 / 長野市ふれあい福祉センター		
		7	30(月)			10:00
		8	27(月)	12:00		折り紙・クリスマス会 / 長野市ふれあい福祉センター
		10	1(月)	10:00		
			29(月)			折り紙 / 長野市ふれあい福祉センター
			11	26(月)		
		12	17(月)	10:00		
		1	28(月)	10:00		
		2	14(木)	PM		
		25(月)	10:00	折り紙 / 長野市ふれあい福祉センター		
		3	25(月)		10:00	
碁楽会 年会費1,000円 大会参加費500円 交流会・勉強会無料	8	2(木)	9:30	夏季囲碁大会 / 長野市ふれあい福祉センター	屋敷・飲み物等	
		10	26(金)	交流会・勉強会 / 長野市ふれあい福祉センター		
		1	11(金)	9:30		新春囲碁大会 / 長野市ふれあい福祉センター
		3	12(火)	10:00		交流会・勉強会 / 長野市ふれあい福祉センター

	月	日(曜日)	開始時間	内容 / 場所	持ち物	
安来節の会 年会費1,000円 参加費無料	7	23(日)	10:00	民舞踊 / 長野市ふれあい福祉センター	お茶等 飲み物 魚籠・ザル・豆絞り手ぬぐい	
	8	20(月)	10:00			
	9	10(月)	10:00			
	10	15(月)	10:00			
		5(月)	10:00			
		11	19(月)			PM
		21(水)	PM	「長野市老人クラブ大会」アトラクション出演 / ふれあい福祉センター		
		12	10(月)	10:00		民舞踊 / 長野市ふれあい福祉センター
		1	21(月)	10:00		
		2	4(月)	10:00		
		13(水)	PM			
		3	18(月)	10:00		「芸能発表会」出演 / 東部文化ホール
	3	18(月)	10:00	民舞踊 / 長野市ふれあい福祉センター		
コーラル 歌音 年会費1,000円 歌集代1,000円 参加費無料 講師料別途 7/9(月)のみ 要申込2,000円	7	9(月)	11:30	懇親会 / うるおい館	飲み物	
	8	6(月)	10:00	童謡・唱歌等 / 長野市ふれあい福祉センター		
	9	18(火)	10:00			
	10	9(火)	10:00	「長野市老人クラブ大会」アトラクション出演 / ふれあい福祉センター		
	11	12(月)	10:00			
		21(水)	PM			
		12	14(金)	10:00		童謡・唱歌等 / 長野市ふれあい福祉センター
		1	8(火)	10:00		
			23(水)			「芸能発表会」出演 / 東部文化ホール
			12(火)	10:00		
			14(木)	PM		童謡・唱歌等 / 長野市ふれあい福祉センター
			3	20(水)		
MG健球会 年会費1,000円 月例会参加費100円 大会参加費500円 8/7(火)のみ 入場料1,000円	7	6(金)	9:00	月例会 / 犀川第2緑地	マレット 用具 飲み物・ 雨具等	
		31(火)				
	8	7(火)	9:00	月例会 / 聖山北島マレットゴルフ場(上田市菅平高原)		
		7(金)	9:00	月例会 / 犀川第2緑地		
	9	21(金)	9:30			
		10	19(金)	9:00		大会 / 犀川第2緑地
		11	16(金)	9:00		月例会 / 犀川第2緑地
		27(火)				
	12	7(金)	9:00			

お知らせ

今年度から「長野市老連新聞」は年1回(6月)発行に変更となり、新聞名も「長野市老連新聞 ふれあい便り」となりました。今後もより良い紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

長野市老人クラブ連合会事務局

原稿募集

「長野市老連新聞 ふれあい便り」第14号の発刊に向けて、会員の皆さまから原稿募集を致します。皆さまの力作を、心よりお待ちしております。

◆募集要項 「長野市老連新聞 ふれあい便り」第14号 (2019年6月発行予定)

•文章作品 市老連事業参加報告、クラブ活動記、随想、紀行文など。800字以内。できれば関連した写真を1~2枚ご同封下さい。長文の場合は紙面の都合により割愛させていただきます。

•文芸作品 俳句・短歌・川柳など。
•その他 写真・書道・絵葉書など。

◆原稿締切 2019年4月末日

◆送付先 〒380-0813 長野市緑町 1714-5
長野市ふれあい福祉センター内
長野市老人クラブ連合会事務局

◎住所・氏名・電話番号・所属単位クラブ名を明記の上、ご送付ください。



雪解けの水は若葉の色をして
里の花びら乗せて流るる
うぐいすの声を聞きつつ種をまく
若葉の枝に主は見えたり
山の湯の小さき宿のもてなしは
わらび竹の子おかみの笑顔
里山の緑鮮やか濃く淡く
小学唱歌わかばなつかし
アルプスの稜線くつきり現われて
山の季節は夏へと替る
ひらひらと黄蝶の遊ぶ山の畑
いつの間にやら林に消えて

会員文芸
安茂里地区
小林 靖子

市老連夏のバス旅行のご案内

大勢の皆さんのご参加をお待ちしております!

宇奈月トロッコ電車と国宝瑞龍寺・金太郎温泉の1泊2日の旅

黒部渓谷を走り抜けるトロッコ電車、魚津埋没林博物館、国宝瑞龍寺を巡る旅です。泊まりは千百坪の湯量豊富な全面かけ流し温泉「金太郎温泉」です。

◆期 日/平成30年7月19日(木)~20日(金)

◆旅行代金/29,800円

(1泊4食・トロッコ電車代・入場料・消費税含む、宴会費追加別途)

◆宿 泊/金太郎温泉

富山県魚津市 ☎0765-24-1220

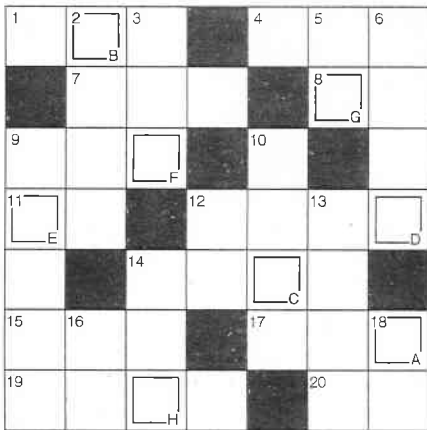
◆申込先/長野市老人クラブ連合会事務局 ☎026-227-3520

◆申込締切日/平成30年6月30日(土) (定員に達し次第締め切り)



プレゼントつき!

クロスワードクイズ



◆宛先

〒380-0813 長野市緑町 1714-5
長野市ふれあい福祉センター内
長野市老人クラブ連合会事務局まで
★ふるってご応募ください!



タテのカギ

- 2 雷など、空中で電気の放電によってひらめく火花
- 3 ニワトリの頭上にある赤色の突起
- 5 でんぷんなどの炭水化物を多く含み、主食としている国もある食物
- 6 飛べない大型の鳥の代表格といえば
- 9 川などの兩岸を往復して人や荷物を運ぶ船
- 10 ____を守るのは、交通安全の基本です
- 12 植物を刈るための農具の一種
- 13 古くから言い伝えられてきた、風刺や教訓を含んだ簡潔な言葉
- 14 北島三郎の代表曲といえば
- 16 物事を直感的に感じ取る力。「今日は____がさえているね」
- 18 干支の一つ。日光東照宮の社殿を飾る彫刻で有名

ヨコのカギ

- 1 学校などで教えを受ける者
- 4 なまけてだらしないこと
- 7 他人をいたわる心。「____は人のためならず」
- 8 お正月によく食べるもの。嫉妬心を表す「やき____」という言葉も
- 9 ほんの少し
- 11 運動会では、____入れに大ハッスルでした
- 12 楽しみを目的に、風景や史跡などを巡ること
- 14 家庭の様子をまねた子どもの遊び
- 15 主に中学や高校でスポーツや文化を学ぶ、学科以外の活動を指す言葉の略
- 17 世間で言いふらされている確かでない話
- 19 思いを込めることで生じる力
- 20 網状の調理器具。大酒飲みのたとえにも

タテとヨコのカギを解いて、ABCDEFGHIJHに入ることばを見つけてください。正解者の中から10名に記念品をお送りいたします。



★前号クロスワードの答え★



答えは



【募集要項】ハガキにクイズの答え、所属単位クラブ名、お名前、ご住所、電話番号、「長野市老連新聞 ふれあい便り」の感想を明記して、左記の宛先までお送りください。締切は平成30年7月31日です。

〈平成30年度 長野市老連 女性部事業計画〉

事業名	実施期日 (予定)	概要
正副部長会議 (出席者:市老連女性部正副部長)	年5~6回	長野市老人クラブ連合会の事業および女性部の事業について運営・協議
女性部会(出席者:地区女性部長)	年2~3回	女性部の事業について運営・協議
女性リーダー研修会	6月27日(水)	女性会員の活動を通して老人クラブ活動の発展、活性化を目指し、楽しいクラブ活動と仲間づくりを推進する研修会の開催 参加対象者:地区および単位老人クラブ女性部役員 地区老人クラブ役員 実施内容:講演、歌、体操等
〈県老連〉 女性指導者研修会 (出席者:市老連女性部正副部長)	7月24日(火)	女性リーダーの資質の向上を図り、「男女共同参画のクラブづくり」を実現するため、女性指導者対象の研修会に参加
実技研修会	11月2日(金)	楽しいクラブづくりに役立つ研修会の開催 参加対象者:地区および単位老人クラブ女性部役員 実施内容:実技講習、いきいきクラブ体操、歌等
交流研修会	年数回	女性会員相互の交流および親睦を図るため、交流会の実施 参加対象者:地区老人クラブ女性部役員、女性会員等 実施内容:グループ討議・意見交換、実技講習、歌等
その他	年間	長野市老人クラブ連合会事業への参加、協力

(右側後列から)
辻副部長、山口部長
(左側後列から)
田中副部長、小林副部長



平成30年度
女性部事業について

四月二十四日、長野市ふれあい福祉センターにおいて、長野市老連女性部会が開催され、役員の変更および女性部の事業・活動について意見交換が行われました。

今年度も女性部のキャッチフレーズ「一期一会〜あなたとの出会いを大切に〜」の基に、楽しく元気に活動してまいります。

正副部長ごあいさつ

女性部長 山口 久子(若槻地区)

二十九年単年の女性部長より地区の女性部長をやってほしいと言われ、仕方ないかなと気軽に引き受けてしまったのが間違っていたようです。市老連の女性部長会議に出席すると突然副女性部長を指名されました。夫を亡くしたばかりの私には無理!!と固辞したのですが許されず二年だけということで辻・小林副部長と三人、その任をお受けしてきました。

ところが、年度末になり倉島女性部長が退任するから三人のうちからひとり女性部長にと言われ、一番若かった?私が選ばれてしまいました。

先日県老連の女性委員会に出席し、市町村老人クラブ連合会ブロック研修会(六月二十六日(水)小布施町公民館)と女性指導者研修会(七月二十四日(木)木島平村若者センター)の任務担当が決まり、実技研修では布とハサミだけでバッグを作りしました。これを市老連でも十一月二日(金)に作り、紐を不器用な私にでもできましたので、紐を結ぶことのできる方ならなたでもできます。大勢の皆さまが参加してください。ことをお待ちしています。

むずかしいことを考えたり、やったりすることはできませんので、普段と同じ言葉で自分なりに支援を頂きながら任務を全部していきたくと思います。

女性部副部長 辻 信子(第三地区)

任期も残すところ一年、皆さまと協力して務めてまいりますと思っております。

女性部副部長 小林 靖子(安茂里地区)

昨年からは副部長を務め、今まで経験したことがないこともできました。この一年もどうぞよろしくお願いたします。

女性部副部長 田中 純子(大豆島地区)

今回大豆島地区から初めて就任しました。引き受けたからにはがんばります。

編集後記

「長野市老連新聞ふれあい便り」第十三号をお届けいたします。今号も発行に向けてたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。▼市老連としてこの半年間の主な活動や行事を取りまとめましたが、会員の皆さまには楽しい思い出や今後のクラブ活動の参考に、また未加入者を中心に対外的なPRに本紙が役立てば幸いです▼さて、先月県北部で発生した地震も記憶に新しいことと思いますが、災害時には普段からの地域内の人付き合いが安否確認に大きくものを言います▼老人クラブとしては、家にもりがある高齢者に対して災害時に役立つ地域の高齢者ネットワークとして丁寧に理解を得ていきたいものです。

ご協賛いただいた

皆様への御礼

このたびは、「長野市老連新聞ふれあい便り」の発行にあたって、広告のご協賛を賜り、誠にありがとうございました。

本紙は会員の生きがい、健康、教養を高めるとともに、豊かで幸せな老後を過ごすことができるよう願って発行するものです。今後も一層の努力と熱意をかたむけて参りますので、以上の趣旨をご理解いただき、何卒末永きご厚誼、ご支援のほどをお願い申し上げます。

長野市老人クラブ連合会